

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	1	渡右	54-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市相生町	54.00-58~54.50	529.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	2	渡右	53-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市相生町	53.50-41~53.50+17	58.1	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	3	渡右	53-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市相生町	53.50-41	1箇所 (8.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(相川橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	渡右	52-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	52.75+8~52.75+83	74.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	5	渡右	52-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	52.75-40~52.75+8	48.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	6	渡右	52-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	52.75-65~52.75-40	24.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	7	渡右	52-4	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県 桐生市相生町	52.75-98~52.75-65	33.8	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	8	渡右	52-5	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	52.40+77~52.75-98	39.9	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	9	渡右	52-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県 桐生市相生町	51.80+107~52.40+77	575.3	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	10	渡右	51-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	51.60-29~51.80+107	349.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	11	渡右	51-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市相生町	51.40-56	1箇所 (2.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(上毛線)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	渡右	51-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	51.40-73~51.40-60	12.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	13	渡右	51-4	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	51.20+86~51.40-73	12.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	14	渡右	51-5	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	51.20-33~51.20+86	118.3	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	15	渡右	51-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県 桐生市相生町	50.80+5~51.20-33	374.9	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	16	渡右	50-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	50.80-22~50.80+5	26.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	17	渡右	50-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	50.40+102~50.80-22	226.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	18	渡右	50-3	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	50.40-43~50.40+102	144.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	19	渡右	50-4	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 桐生市相生町	50.20+95~50.40-43	52.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	20	渡右	50-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市相生町	50.20-59~50.20+95	153.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	21	渡右	50-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市相生町	50.20-98~50.20-59	39.3	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	22	渡右	50-7	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市相生町	49.80-5~50.20-98	443.6	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	23	渡右	49-1	渡良瀬川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	右	群馬県 桐生市相生町	49.80-47~49.80-5	42.3	破堤跡 (S24キティ台風) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	24	渡右	49-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市相生町	49.80-66~49.80-47	18.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	25	渡右	49-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市桜木町	49.40-151~49.40-64	87.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	26	渡右	48-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市広沢町	48.60+105~48.80-59	70.3	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	27	渡右	48-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町間ノ島	48.20+9~48.40	174.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	28	渡右	48-3	渡良瀬川	破堤跡	要注	右	群馬県 桐生市広沢町間ノ島	48.00+52~48.20-89	47.0	破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	29	渡右	47-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町間ノ島	47.80+61~48.00-71	71.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	30	渡右	47-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町間ノ島	47.80+10~47.80+61	50.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	31	渡右	47-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町間ノ島	47.80-84~47.80+10	94.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	32	渡右	47-4	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市広沢町	47.20-72~47.40-97	217.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	33	渡右	46-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市広沢町	46.80-108~46.80-97	10.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	34	渡右	46-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町	46.60-117~46.80-108	224.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	35	渡右	46-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町	46.40+13~46.60-117	129.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	36	渡右	46-4	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町	46.40-66~46.40+13	79.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	37	渡右	46-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町	46.00~46.40-66	301.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	38	渡右	45-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市広沢町	45.00-5~45.00+51	55.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	39	渡右	44-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町	44.80+5~44.80+93	88.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	40	渡右	44-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町	44.80-66~44.80+5	71.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	41	渡右	44-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町	44.80-77~44.80-66	10.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	42	渡右	44-4	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	群馬県 桐生市広沢町	44.40-61~44.80-77	400.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	43	渡右	44-5	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町	44.20+83~44.40-61	77.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	44	渡右	44-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市広沢町	44.20+77~44.20+83	5.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	45	渡右	44-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市広沢町	44.20~44.20+77	77.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	46	渡右	43-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市吉沢町	43.40+32~43.80-65	312.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	47	渡右	43-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市吉沢町	43.00+102~43.40	328.9	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	48	渡右 42-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市原宿町	42.60+53~43.00-83	284.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	49	渡右 42-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	42.00+13~42.20-74	87.0	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	50	渡右 41-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市原宿町	41.80-13~42.00-58	110.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	51	渡右 41-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.60-33~41.60+40	73.1	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	52	渡右 41-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.40+89~41.60-106	27.9	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	53	渡右 41-4	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.40-12~41.40+73	84.7	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	54	渡右 41-5	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.20+103~41.40-85	54.7	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	55	渡右 40-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	右	群馬県 太田市只上町	40.60-57~40.60-16	41.6	破堤跡 (S22カスリーン台風)	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	56	渡右 40-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市只上町	40.00+59~40.20+60	197.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	57	渡右 40-3	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市只上町	39.80+80~40.00+20	128.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	58	渡右 39-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	右	群馬県 太田市只上町	39.80+19~39.80+61	42.5	破堤跡 (S22カスリーン台風)	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	59	渡右 39-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市市場町	39.20-28~39.20+57	84.5	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	60	渡右 39-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市市場町	39.00-70~39.00+105	175.3	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	61	渡右 38-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B 要注	右	群馬県 太田市市場町	38.80-55~39.00-70	149.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	62	渡右 38-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市市場町	38.80-82~38.80-55	27.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	63	渡右 38-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市中川町	38.00~38.40-6	321.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	64	渡右 36-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+155~37.00-54	100.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	65	渡右 36-2	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+85~36.80+155	69.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	66	渡右 36-3	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+47~36.80+85	38.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	67	渡右 36-4	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.60+89~36.80+47	167.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	68	渡右 36-5	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 破堤跡	B B 要注	右	栃木県 足利市借宿町	36.60+47~36.60+89	42.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	69	渡右 36-6	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.40+105~36.60+47	152.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	70	渡右 36-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市借宿町	36.00+81~36.40+105	367.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	71	渡右 35-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市借宿町	35.80+56~35.80+87	30.3	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	72	渡右 35-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B	右	栃木県 足利市田中町	35.80-70	1箇所 (8.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	73	渡右 35-3	渡良瀬川	基礎地盤漏水	B	右	栃木県 足利市田中町	35.40+5~35.60+85	265.2	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪	
渡良瀬川河川事務所	74	渡右 35-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市南町	34.80-44~35.40-82	564.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	75	渡右 35-5	渡良瀬川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市南町	35.20+68	1箇所 (17.5m)	桁下高が不足する中橋の取付部が、堤防を切込んでいる 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所(危険箇所(越水):高津戸観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	76	渡右 34-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県 足利市田中町	34.00~34.60-16	336.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張	
渡良瀬川河川事務所	77	渡右 33-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県 足利市田中町	33.80+77~34.00	127.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張	
渡良瀬川河川事務所	78	渡右 33-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県 足利市田中町	33.80-110~33.80+77	186.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張	
渡良瀬川河川事務所	79	渡右 33-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市福富町	33.10~33.30+125	262.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	80	渡右 33-4	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市福富町	33.00~33.10	74.9	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	81	渡右 32-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市福富町	32.25+123~33.00	620.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	82	渡右 30-1	渡良瀬川	基礎地盤漏水	B	右	栃木県 足利市常見町	30.00~31.00	1008.1	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪	
渡良瀬川河川事務所	83	渡右 29-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市梁田町	29.75-47~30.00-80	216.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	84	渡右 29-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市梁田町	29.25+22~29.50-94	107.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	85	渡右 29-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市野田町	28.75+22~29.25-84	357.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	86	渡右 28-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県 足利市野田町	27.50+21~28.25-32	654.3	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 渡良瀬川右岸野田町上流地先築堤工事(R5.6完)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り	
渡良瀬川河川事務所	87	渡右 27-1	渡良瀬川	(重点)		右	栃木県 足利市野田町	27.5		(危険箇所(越水):足利観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	88	渡右 27-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市野田町	27.00~27.00+20	19.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	89	渡右 26-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県 足利市野田町	26.25+125~26.50-37	99.2	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先築堤護岸工事(R5.3完)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り	
渡良瀬川河川事務所	90	渡右 26-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県 足利市野田町	26.00+80	1箇所 (21.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬川大橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	91	渡右 26-3	渡良瀬川	(重点) 新堤防	要注	右	栃木県 足利市野田町	25.25-112~26.00+24	880.9	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸野田町地先築堤護岸工事(R5.3完) (危険箇所(避難):足利観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り	
渡良瀬川河川事務所	92	渡右 24-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県 足利市野田町	25.00-86~25.00-6	80.2	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 旗川左岸高橋町地先低水護岸工事(R6.3完成見込み)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り	
渡良瀬川河川事務所	93	渡右 24-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	栃木県 足利市野田町	24.75+11~25.00-86	189.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	94	渡右 24-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県 足利市野田町	25.00-103	1箇所 (10.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高橋大橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	95	渡右 24-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市上早川田町	24.50+153~24.75+11	164.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	96	渡右 22-1	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 館林市下早川田町	23.00-104	1箇所 (9.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬大橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	97	渡右 22-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市下早川田町	21.25+14~22.50+125	1463.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	98	渡右 22-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 館林市下早川田町	22.50+75	1箇所 (4.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(東武佐野線)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	99	渡右 21-1	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	21.00+74~21.25+14	87.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.6完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	100	渡右 21-2	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 館林市大島町	20.50+130~21.00+74	452.5	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.6完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	101	渡右 20-1	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	20.25+42~20.50+130	348.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.6完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	102	渡右 20-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市大島町	20.25-38~20.25+42	80.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	103	渡右 20-3	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 館林市大島町	20.00-48~20.25-38	250.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設が必要な区間である。	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	104	渡右 19-1	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市大島町	19.25-100~20.00-48	802.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(越水):足利観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	105	渡右 19-2	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	19.00+15~19.25-100	135.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.6完) R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先外築堤護 岸工事(R5.3完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	106	渡右 19-3	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	19.00-48~19.00+15	63.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.6完) R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先外築堤護 岸工事(R5.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	107	渡右 18-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	19.00-111~19.00-48	62.5	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.6完) R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先外築堤護 岸工事(R5.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	108	渡右 18-2	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.50-87~19.00-111	476.5	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先外築堤護 岸工事(R5.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	109	渡右 18-3	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.25-102~18.50-87	256.0	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.6完) R 3 渡良瀬川右岸野田町下流地先外築堤護 岸工事(R5.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	110	渡右 18-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	17.00+132~18.25-102	1037.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	111	渡右 18-5	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.00+112	1箇所 (29.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(東北自動車道)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	112	渡右 16-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡	15.50+115~16.50+121	1004.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	113	渡右 15-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字除川	14.75+102~15.25	400.7	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川右岸除川地先高水護岸工事 (R4.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	114	渡右 14-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字除川	14.25+134~14.50-121	63.8	旧川跡。	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡瀬川河川事務所	115	岩井分水路(右岸)	33-5	渡良瀬川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 足利市岩井町	33.4~33.6	4.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡瀬川河川事務所	116	岩井分水路(右岸)	33-6	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県 足利市岩井町	33.2~33.4	37.2	堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡瀬川河川事務所	117	岩井分水路(右岸)	33-7	渡良瀬川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 足利市岩井町	33~33.2	228.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	118	渡左	53-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50+120~53.75-96	23.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	119	渡左	53-2	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-31~53.50+120	150.3	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	120	渡左	53-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-31	1箇所 (8.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(相川橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	121	渡左	53-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-51~53.50-31	20.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	122	渡左	52-1	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市川内町	52.40-27	1箇所 (10m)	鷹の巣排水樋管函体沿いに漏水の可能性が 有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	123	渡左	51-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.80-5~51.80+28	32.7	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	124	渡左	51-2	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.60+78	1箇所 (10m)	青葉台雨水排水口の函体沿いに漏水の可 能性有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	125	渡左	51-3	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00+118~51.60+18	528.7	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	126	渡左	51-4	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.40+64	1箇所 (9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(赤岩橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	127	渡左	51-5	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.40-45	1箇所 (2.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(上毛線)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	128	渡左	51-6	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.20-65	1箇所 (5m)	天津沢第3樋管は函体沿いに漏水の可 能性有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	129	渡左	51-7	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00+77~51.00+118	41.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	130	渡左	51-8	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.00~51.00+77	76.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	131	渡左	50-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.00-12~51.00	11.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	132	渡左	50-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00-23~51.00-12	11.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	133	渡左	50-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市堤町	50.60+47~50.80+52	318.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	134	渡左	50-4	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	50.80+47	1箇所 (10m)	老朽化(赤岩用水樋管)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	135	渡左	50-5	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県 桐生市元宿町	50.60+23~50.60+47	23.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	136	渡左	50-6	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市元宿町	50.60+8~50.60+23	15.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	137	渡左 50-7	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県 桐生市元宿町	50.40+61~50.60+8	135.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	138	渡左 50-8	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市清瀬町	50.40+38~50.40+61	23.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	139	渡左 49-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市錦町	48.40+95~49.40+5	875.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	140	渡左 47-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市琴平町	47.80-92~47.80+107	199.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	141	渡左 47-2	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県 桐生市境野町	47.60+77~47.80-92	35.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	142	渡左 47-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市境野町	47.00+86~47.60+77	570.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	143	渡左 46-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県 桐生市境野町	46.80-103~46.80-77	25.7	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	144	渡左 46-2	渡良瀬川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	左	群馬県 桐生市境野町	46.80-128~46.80-103	25.7	破堤跡 (S24キティ台風) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	145	渡左 46-3	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県 桐生市境野町	46.60+116~46.80-128	12.8	破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	146	渡左 46-4	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県 桐生市境野町	46.40+5~46.40+33	28.0	破堤跡 (S23アイオン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	147	渡左 45-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市境野町	45.60+96~45.80+104	281.3	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	148	渡左 45-2	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県 桐生市境野町	45.60+41~45.60+96	54.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	149	渡左 45-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市境野町	45.00+71~45.60+41	626.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	150	渡左 45-4	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県 桐生市境野町	45.00+27~45.00+71	43.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S23アイオン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	151	渡左 45-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市境野町	44.80+72~45.00+27	124.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	152	渡左 44-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県 桐生市境野町	44.60+9~44.60+73	64.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	153	渡左 44-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市小俣町	44.40-78~44.60+9	272.9	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	154	渡左 44-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市小俣町	44.20-36~44.40-78	153.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	155	渡左 44-4	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市小俣町	44.00~44.20-36	142.6	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所		
渡良瀬川河川事務所	156	渡左 43-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市小俣町	44.00-25~44.00	24.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	157	渡左 43-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市小俣南町	43.80+40~43.80+60	19.9	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	158	渡左 43-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市小俣南町	43.60+56~43.80+40	188.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	159	渡左 43-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市小俣南町	43.60+31~43.60+56	25.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	160	渡左 43-5	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市小俣南町	43.40+90~43.60+31	121.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張	
渡良瀬川河川事務所	161	渡左 43-6	渡良瀬川	(重点) 基礎地盤漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	左	栃木県 足利市小俣南町	43.20-77~43.40+90	363.3	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。 重点監視区間(基礎漏水)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪 木流し・シート張	

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	162	渡左	43-7	渡良瀬川	基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B	左	栃木県 足利市小俣南町	43.00~43.20-77	116.0	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	163	渡左	42-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市葉鹿町	42.80+85~43.00	127.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	164	渡左	42-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市葉鹿町	42.00+77~42.80+85	824.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	165	渡左	42-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市葉鹿南町	41.80+114~42.00+77	202.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	166	渡左	41-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市大前町	41.80+96~41.80+114	18.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	167	渡左	41-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市大前町	41.40+10~41.80+96	407.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	168	渡左	41-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市大前町	40.80-77~41.20	413.3	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	169	渡左	40-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市大前町	40.20+76~40.80-77	399.3	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	170	渡左	40-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市鹿島町	40.00+25~40.20+76	251.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	171	渡左	39-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市鹿島町	39.20+52~39.40-32	75.4	旧川跡。 工事後3年間経過	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	172	渡左	39-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市鹿島町	39.00+9~39.00+66	56.5	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	173	渡左	38-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市五十部町	38.40-119~38.80-73	517.3	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	174	渡左	37-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市五十部町	37.80+9~38.00	81.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	175	渡左	37-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市五十部町	37.40+98~37.80-41	163.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	176	渡左	37-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市五十部町	37.00+125~37.40-91	294.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	177	渡左	37-4	渡良瀬川	堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B	左	栃木県 足利市今福町	36.80+49~37.00+125	173.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 月の輪 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	178	渡左	36-1	渡良瀬川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市緑町	36.20~36.80+49	647.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	179	渡左	35-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県 足利市通	35.80+124~36.00-118	6.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	180	渡左	35-2	渡良瀬川	(重点) 堤体漏水 水衝洗掘	B B	左	栃木県 足利市通	35.80-118~35.80+124	242.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 重点監視区間(法崩れ・すべり)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	181	渡左	35-3	渡良瀬川	工作物	B	左	栃木県 足利市通	35.80+62	1箇所 (10m)	老朽化(繊維樋管)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	182	渡左	35-4	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 足利市通	35.80-77	1箇所 (8.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良 瀬橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	183	渡左	35-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市通	35.20+104~35.80-118	429.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	184	渡左	35-6	渡良瀬川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県 足利市通	35.40-88	1箇所 (17.5m)	桁下高が不足する中橋の取付部が、堤防を切込んでいる 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (危険箇所(避難):高津戸観測所) (危険箇所(越水):高津戸観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	185	渡左	34-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市岩井町	34.00+131~34.00+161	30.1	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	186	渡左	34-2	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	栃木県 足利市岩井町	34.00+30~34.00+90	60.3	破堤跡(S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	187	渡左	32-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市岩井町	32.90+27~33.00-36	115.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	188	渡左	32-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市岩井町	32.50-43~32.50+97	139.5	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	189	渡左	32-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市岩井町	32.25+86~32.25+147	61.2	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	190	渡左	31-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市岩井町	31.25-115~31.25+28	143.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	191	渡左	31-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市常見町	31.00+110~31.25-115	36.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	192	渡左	31-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市常見町	31.00-66~31.00+110	175.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	193	渡左	30-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市常見町	31.00-132~31.00-66	65.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	194	渡左	30-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市常見町	30.50+140~31.00-132	306.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	195	渡左	29-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市川崎町	29.75-59~29.75+96	154.7	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	196	渡左	28-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市川崎町	28.50-140~28.50-44	95.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	197	渡左	28-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市川崎町	28.25-52~28.25+147	198.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	198	渡左	28-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市川崎町	28.25-114~28.25-52	62.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	199	渡左	28-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市奥戸町	28.25-207~28.25-114	92.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	200	渡左	28-5	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市奥戸町	28.00+227~28.25-207	82.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	201	渡左	28-6	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 足利市奥戸町	28.00+72~28.00+227	154.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	202	渡左	26-1	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市高橋町	26.75~26.75+112	111.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕未満 (危険箇所(越水):足利観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	203	渡左	26-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 佐野市高橋町	26.00+139	1箇所 (21.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕未満(渡良瀬川大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	204	渡左	25-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 佐野市高橋町	25.50+55~26.00-66	296.6	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤護岸工事(R4.9完)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	205	渡左	25-2	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 佐野市高橋町	25.50+25~25.50+55	29.7	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 2 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤護岸工事(R4.9完) R 3 渡良瀬川左岸高橋町上流地先築堤護岸工事(R5.3完) R5旗川左岸高橋町地先外低水護岸工事(R6.3完成見込み)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張り

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	206	渡左	25-3	渡良瀬川	(重点) 新堤防	要注	左	栃木県 佐野市高橋町	25.25-64~25.50+25	311.3	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R3 渡良瀬川左岸高橋町上流地先築堤護岸 工事(R5.3完) R5旗川左岸高橋町地先外低水護岸工事(R6.3 完成見込み) (危険箇所(避難):足利観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	208	渡左	25-4	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 佐野市高橋町	25.00+123~25.25-64	58.8	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R5旗川左岸高橋町地先外低水護岸工事(R6.3 完成見込み)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	209	渡左	25-5	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	25.00+44~25.00+123	78.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R5旗川左岸高橋町地先外低水護岸工事(R6.3 完成見込み)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	210	渡左	25-6	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市高橋町	25.00~25.00+44	44.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	211	渡左	24-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市高橋町	24.75+121~25.00	121.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	212	渡左	24-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 佐野市高橋町	24.75+87	1箇所 (10.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高橋 大橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	213	渡左	24-3	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 佐野市高橋町	24.75-101~24.75+34	135.2	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R3 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤工事(R4.7 完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	214	渡左	24-4	渡良瀬川	水衝洗掘 新堤防	B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	24.50~24.75-101	128.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設が必要な区間である。 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R3 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤工事(R4.7 完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・シート張 シート張り
渡良瀬川河川事務所	215	渡左	24-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 佐野市高橋町	24.25+21~24.50	192.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設が必要な区間である。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	216	渡左	24-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	24.25-17~24.25+21	38.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設が必要な区間である。 旧川跡。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	217	渡左	24-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 佐野市高橋町	24.25-47~24.25-17	29.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設が必要な区間である。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	218	渡左	23-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県 館林市下早川田 町	23.25+59~23.25+96	36.9	旧川跡。	館林市	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	219	渡左	23-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	群馬県 館林市下早川田 町	23.00+53~23.00+188	135.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	220	渡左	23-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 館林市下早川田 町	23.00+75	1箇所 (9.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良 瀬大橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	221	渡左	23-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市下羽田町	23.00+38~23.00+53	15.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	222	渡左	23-5	渡良瀬川	(重点) 工作物	A	左	栃木県 佐野市下羽田町	23.00+45	1箇所 (15m)	応急対策が必要な施設(才川樋管)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	223	渡左	23-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市船津川町	22.75+114~23.00+38	151.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(越水):足利観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	224	渡左	22-1	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 佐野市船津川町	22.75-46	1箇所 (4.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(東武 佐野線)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	225	渡左	21-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 佐野市船津川町	20.75~21.75	1027.1	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川左岸船津川町地先高水護岸工 事(R4.6完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	226	渡左	20-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市船津川町	19.75+151~20.25+104	479.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	227	渡左	19-1	渡良瀬川	(重点) 工作物	A	左	栃木県 佐野市船津川町	19.50+165	1箇所 (10m)	応急対策が必要な施設(菊沢樋管)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	228	渡左	19-2	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市船津川町	19.00-78~19.50+76	631.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(越水):足利観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	229	渡左	18-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市馬門町	17.75-22~19.00-78	1123.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	230	渡左	18-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 佐野市高山町	18.00+79	1箇所 (29.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(東北 自動車道)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸 別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	231	渡左	17-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高山町	17.25-94~17.75-22	416.8	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R3 渡良瀬川左岸高山町地先堤防強化工事 (R4.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	232	渡左	16-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市高山町	16.50+130~16.75-16	114.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
					種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	233	渡左	15-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町甲	15.25+56~15.50-48	297.8	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 渡良瀬川左岸藤岡町地先築堤(その2)工事(R6.3完成見込み)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	234	渡左	15-2	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町甲	15.25-40~15.25+56	95.9	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 渡良瀬川左岸藤岡町地先築堤(その1)工事(R6.3完成見込み)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	235	渡左	15-3	渡良瀬川	水衝洗掘 新堤防	B 要注	左	栃木県	栃木市藤岡町甲	14.75+65~15.25-40	395.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 渡良瀬川左岸藤岡町地先築堤(その1)工事(R6.3完成見込み)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	木流し・シート張 シート張り
渡良瀬川河川事務所	236	渡左	14-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町甲	14.25+37~14.75+65	384.1	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R 4 渡良瀬川左岸藤岡町地先築堤(その1)工事(R6.3完成見込み)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	237	渡左	14-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町藤岡	14.00+65~14.25+15	129.5	旧川跡。	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	238	渡左	13-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県	邑楽郡板倉町大字除川	13.75+36~13.75+102	66.4	旧川跡。	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	239	渡左	13-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町藤岡	13.75-80~13.75+36	115.7	旧川跡。	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	5,316	20 箇所	2,825	9 箇所	2,491	11 箇所
総合評価 A	1,821	11 箇所	1,142	6 箇所	679	5 箇所
越水(溢水) A	1,821	9 箇所	1,142	6 箇所	679	3 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		4 箇所		1 箇所		3 箇所
総合評価 B	28,876	156 箇所	15,113	74 箇所	13,763	82 箇所
越水(溢水) B	9,178	46 箇所	5,821	22 箇所	3,357	24 箇所
堤体漏水 B	3,550	22 箇所	2,210	15 箇所	1,339	7 箇所
基礎地盤漏水 B	2,573	6 箇所	1,273	2 箇所	1,299	4 箇所
水衝洗掘 B	18,932	105 箇所	8,419	51 箇所	10,512	54 箇所
工作物 B		22 箇所		8 箇所		14 箇所
総合評価 要注	12,325	70 箇所	6,187	33 箇所	6,137	37 箇所
新堤防	7,652	26 箇所	3,996	13 箇所	3,656	13 箇所
破堤跡	532	14 箇所	215	5 箇所	317	9 箇所
旧川跡	9,547	74 箇所	4,020	36 箇所	5,527	38 箇所

凡例
○: 氾濫危険水位設定箇所
赤字: 重点区間

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	240	桐右	10-1	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県 桐生市天神町	10.60-49~10.60+99	147.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	241	桐右	10-2	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市菱町	10.40+98~10.60-49	48.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	242	桐右	10-3	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市菱町	10.40-99~10.40+98	196.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	243	桐右	10-4	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市天神町	10.20+93~10.40-99	4.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	244	桐右	10-5	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県 桐生市天神町	10.20-91~10.20+93	184.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	245	桐右	10-6	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市天神町	10.20+59	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(中里橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	246	桐右	10-7	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市東久方町	10.00+96~10.20-91	4.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	247	桐右	10-8	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市東久方町	10.00+58~10.00+96	38.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	248	桐右	9-1	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市東久方町	9.80-86~9.80-30	55.6	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	249	桐右	9-2	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県 桐生市東	9.40-37~9.40-11	26.6	破堤跡(S13台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	250	桐右	9-3	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県 桐生市東	9.20+3~9.20+17	14.5	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	251	桐右	8-1	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市東	8.80+51	1箇所 (10.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(幸橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	252	桐右	8-2	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県 桐生市東	8.40+54~8.40+74	19.7	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	253	桐右	8-3	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県 桐生市東	8.20-80~8.40-50	142.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	254	桐右	8-4	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市東	8.20-80	1箇所 (6m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(広見橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	255	桐右	8-5	桐生川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市東	8.00-87~8.20-80	230.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。 (危険箇所(避難):広見橋観測所) (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	256	桐右	7-1	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	右	群馬県 桐生市東	7.60+65~8.00-87	210.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	257	桐右	7-2	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	右	群馬県 桐生市東	7.60+56~7.60+65	9.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	258	桐右	7-3	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	右	群馬県 桐生市東	7.40+62~7.60+56	115.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	259	桐右	7-4	桐生川	(重点) 堤体漏水	B	右	群馬県 桐生市東	7.40~7.40+62	62.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 重点監視区間(法崩れ・ナベリ)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	260	桐右	7-5	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市東	7.40-11	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八坂橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	261	桐右	7-6	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市東	7.40-58~7.40-29	29.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	262	桐右	7-7	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県 桐生市東	7.20+65~7.40-62	25.6	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	263	桐右	7-8	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市東	7.00+57~7.00+105	47.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	264	桐右	7-9	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市東	7.00-81~7.00+57	137.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	265	桐右	6-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市浜松町	6.60+73~7.00-81	217.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	266	桐右	6-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	6.60+35~6.60+73	37.7	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	267	桐右	6-3	桐生川	水衝洗掘 陸こう	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	6.60-11~6.60+35	46.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所。 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 余裕高の範囲にボックスがある区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	268	桐右	6-4	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 桐生市境野町	6.60-17~6.60-11	5.6	余裕高の範囲にボックスがある区間である。 現況堤防断面、天端幅が計画以下で1/2以上。 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	269	桐右	6-5	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市境野町	6.20+105~6.60-17	312.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	270	桐右	6-6	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 桐生市境野町	6.00+76~6.20+105	222.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	271	桐右	6-7	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市境野町	6.20-54	1箇所 (8m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(宿の島橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	272	桐右	6-8	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	6.00~6.00+76	75.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	273	桐右	5-1	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	6.00-46~6.00	46.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	274	桐右	5-2	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県 桐生市境野町	5.80+36~6.00-46	87.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	275	桐右	5-3	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 桐生市境野町	5.80-69~5.80+36	105.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	276	桐右	5-4	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県 桐生市境野町	5.80-99~5.80-69	29.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	277	桐右	5-5	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市境野町	5.40-88~5.40+77	164.7	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	278	桐右	5-6	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市境野町	5.00+49~5.20+22	78.0	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	279	桐右	4-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市境野町	4.80+11~4.80+28	17.5	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	280	桐右	4-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	4.80-32~4.80+11	42.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	281	桐右	4-3	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県 桐生市境野町	4.80-102~4.80-32	69.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	282	桐右	4-4	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	4.00+39~4.80-102	653.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	283	桐右	4-5	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市境野町	4.60+66	1箇所 (13.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(両国橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	284	桐右	4-6	桐生川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市小俣町	4.00~4.00+39	38.6	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	285	桐右	3-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市小俣町	3.60-72~3.80-56	160.4	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	286	桐右	3-2	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市小俣町	3.20+104~3.40-63	42.0	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	287	桐右	3-3	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県 足利市小俣町	3.40-89	1箇所 (1.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(桐生川橋梁(両毛線))	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	288	桐右	3-4	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	栃木県 足利市小俣町	3.20+15~3.20+62	46.9	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	289	桐右	3-5	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市小俣町	3.20~3.20+15	14.7	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	290	桐右	3-6	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県 桐生市境野町	3.00-96~3.20	295.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	291	桐右	2-1	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 桐生市境野町	3.00-68	1箇所 (6.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(堤橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	292	桐右	2-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 桐生市境野町	2.60+15~3.00-96	302.2	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	293	桐右	2-3	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	栃木県 足利市小俣町	2.60+4~2.60+15	11.1	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	294	桐右	2-4	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市小俣町	1.60~2.60+4	916.1	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	295	桐左	10-1	桐生川	(重点) 越水(溢水)	B	左	群馬県 桐生市菱町	10.40+72~10.60+92	158.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	296	桐左	10-2	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県 桐生市菱町	10.00+93~10.40-95	181.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	297	桐左	10-3	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市菱町	10.20+60	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(中里橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	298	桐左	8-1	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県 桐生市菱町	8.80+18~8.80+97	78.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	299	桐左	8-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市菱町	8.80+44	1箇所 (10.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(幸橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	300	桐左	8-3	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県 桐生市菱町	8.40+41~8.40+92	51.3	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	301	桐左	8-4	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県 桐生市菱町	8.40-87~8.40-56	30.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	302	桐左	8-5	桐生川	(重点)		左	群馬県 桐生市菱町	8.2		(危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	303	桐左	8-6	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市菱町	8.20-42	1箇所 (6m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(広見橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	304	桐左	7-1	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県 桐生市菱町	7.80~8.00-83	94.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	305	桐左	7-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市菱町	7.40+29	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八坂橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	306	桐左	7-3	桐生川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県 桐生市菱町	7.00+65~7.40-12	170.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	307	桐左	7-4	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県 桐生市菱町	6.80~7.00+65	244.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	308	桐左	6-1	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市菱町	6.00+47~6.80	613.8	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	309	桐左	6-2	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	左	群馬県 桐生市菱町	6.00~6.00+47	47.0	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。 (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	310	桐左	5-1	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市菱町	6.00-98~6.00	97.9	計算水位が現況堤防高以上 高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	311	桐左	5-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市菱町	6.00-73	1箇所 (8m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(宿の島橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	312	桐左	4-1	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.60+57~4.80+17	125.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	313	桐左	4-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.20+47~4.60+57	309.8	高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	314	桐左	4-3	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.00+23~4.20+47	214.0	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	315	桐左	4-4	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	4.00-54~4.00+23	77.6	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	316	桐左	3-1	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	3.60+68~3.80-26	115.4	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	317	桐左	3-2	桐生川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市小俣町	3.40-39~3.60+26	266.3	高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	318	桐左	3-3	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水	B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+51~3.20+99	48.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	319	桐左	3-4	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+80	1箇所 (1.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(桐生川橋梁(阿毛線))	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	320	桐左	3-5	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+41~3.20+51	9.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう シート張 月の輪 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	321	桐左	3-6	桐生川	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00+104~3.20+41	150.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 重点監視区間(基礎漏水)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう シート張 月の輪 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	322	桐左	3-7	桐生川	堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00~3.00+104	104.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	シート張 月の輪 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	323	桐左	2-1	桐生川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00-21~3.00	21.3	高水數幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	324	桐左	2-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00-34	1箇所 (6.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(境橋)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	325	桐左	2-3	桐生川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小俣町	2.60-14~2.80-96	105.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(越水):広見橋観測所)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	326	桐左	2-4	桐生川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小俣町	2.60-60~2.60-14	46.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	327	桐左	2-5	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣町	2.40+71~2.60-60	10.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	328	桐左	2-6	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	2.20+73~2.40+71	142.2	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所		延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地先名	料杭位置(K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	329	桐左	2-7	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市小俣町	2.20+31~2.20+73	42.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	330	桐左	2-8	桐生川	越水(溢水)	B	左	栃木県 足利市小俣町	2.00+87~2.20+31	112.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	331	桐左	1-1	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県 足利市小俣町	1.60~1.80-33	156.2	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	1,464	9箇所	292	2箇所	1,172	7箇所
総合評価 A	759	3箇所	0	0箇所	759	3箇所
越水(溢水) A	759	3箇所	0	0箇所	759	3箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
総合評価 B	5,983	65箇所	3,906	41箇所	2,076	24箇所
越水(溢水) B	2,876	44箇所	1,672	25箇所	1,204	19箇所
堤体漏水 B	880	9箇所	397	4箇所	483	5箇所
基礎地盤漏水 B	483	5箇所	0	0箇所	483	5箇所
水衝洗掘 B	4,203	28箇所	2,582	19箇所	1,621	9箇所
工作物 B	0	15箇所	0	8箇所	0	7箇所
総合評価 要注	2,878	23箇所	1,887	14箇所	992	9箇所
新堤防	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
破堤跡	86	4箇所	86	4箇所	0	0箇所
旧川跡	5,064	38箇所	3,662	25箇所	1,402	13箇所

凡例
 ○: 氾濫危険水位設定箇所
 赤字: 重点区間

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	秆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	332	旗右	11-1	旗川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市寺岡町	NO. 11-58~NO. 11	58.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	333	旗右	11-2	旗川	水衝洗掘	B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 10+89~NO. 11-58	31.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	334	旗右	10-1	旗川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 10+27~NO. 10+89	62.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	335	旗右	10-2	旗川	(重点) 越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 10-41~NO. 10+27	67.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(避難):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	336	旗右	10-3	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 6-49~NO. 10-41	821.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	337	旗右	9-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 9+56	1箇所 (5.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高田橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	338	旗右	7-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 7+103	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(村上大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	339	旗右	6-1	旗川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 5+58~NO. 6-49	87.5	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	340	旗右	5-1	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	NO. 5-24~NO. 5+58	82.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	341	旗右	5-2	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 3+99~NO. 5-24	267.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	342	旗右	2-1	旗川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 2+30~NO. 2+59	29.7	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	343	旗右	2-2	旗川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 2-15~NO. 2+30	44.8	破堤跡(S22カスリーン台風) 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	344	旗右	2-3	旗川	破堤跡	要注	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 2-45~NO. 2-15	30.1	破堤跡(S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	345	旗右	2-4	旗川	(重点) 水衝洗掘	A	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 1+55~NO. 2-85	60.2	堤防護岸の根固めが洗われ、一部破損しており、その対策が未施工の箇所である (H19被災) 重点監視区間(水衝洗掘)	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・シート張
渡良瀬川河川事務所	346	旗右	1-1	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市奥戸町	NO. 1-75~NO. 1-50	24.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	347	旗右	1-2	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市高橋町	NO. 0+50~NO. 1-75	74.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	348	旗左	11-1	旗川	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 9-91~NO. 11	432.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) (危険箇所(避難):高田橋観測所) (危険箇所(越水):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	349	旗左	9-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 9+73	1箇所 (5.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高田橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	350	旗左	9-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 7+104~NO. 9-91	266.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	351	旗左	8-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 8-93	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(村上大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	352	旗左	7-1	旗川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 7+93~NO. 7+104	11.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	353	旗左	7-2	旗川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	佐野市村上町	NO. 7+49~NO. 7+93	43.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所		延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	354	旗左	7-3	旗川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 6+96~NO. 7+49	166.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	355	旗左	6-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 6-64~NO. 6+96	159.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	356	旗左	6-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 5-65~NO. 6-64	171.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	357	旗左	5-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 4+70~NO. 5-65	51.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	358	旗左	4-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 4+46~NO. 4+70	23.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	359	旗左	4-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 3+89~NO. 4+46	135.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	360	旗左	3-1	旗川	堤体漏水	B	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 0~NO. 3+89	579.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	647	4 箇所	215	3 箇所	432	1 箇所
総合評価 A	148	2 箇所	148	2 箇所	0	0 箇所
越水(溢水) A	87	1 箇所	87	1 箇所	0	0 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	60	1 箇所	60	1 箇所	0	0 箇所
工作物 A		0 箇所		0 箇所		0 箇所
総合評価 B	3,531	24 箇所	1,489	11 箇所	2,041	13 箇所
越水(溢水) B	2,862	21 箇所	1,400	9 箇所	1,462	12 箇所
堤体漏水 B	1,820	8 箇所	0	0 箇所	1,820	8 箇所
基礎地盤漏水 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 B	152	3 箇所	152	3 箇所	0	0 箇所
工作物 B		4 箇所		2 箇所		2 箇所
総合評価 要注	105	3 箇所	105	3 箇所	0	0 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	75	2 箇所	75	2 箇所	0	0 箇所
旧川跡	193	5 箇所	75	2 箇所	118	3 箇所

凡例

○: 氾濫危険水位設定箇所

赤字: 重点区間

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	361	秋右	7-1	秋山川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県 佐野市大古屋町	NO. 7-74	1箇所 (4.96177 849m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(伊保内橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	362	秋右	4-1	秋山川	(重点)		右	栃木県 佐野市大古屋町	NO. 4		(危険箇所(越水):伊保内新橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	363	秋右	1-1	秋山川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 佐野市船津川町	NO. 1-44	1箇所 (3.9m)	計算水位が桁下高以上(船津川橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	365	秋左	5-1	秋山川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県 佐野市伊保内町	NO. 5+36	1箇所 (7.7m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(伊保内新橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	366	秋左	2-1	秋山川	旧川跡	要注	左	栃木県 佐野市大古屋町	NO. 2-50~NO. 2+69	119.6	旧川跡。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	367	秋左	1-1	秋山川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県 佐野市船津川町	NO. 1-56	1箇所 (3.9m)	計算水位が桁下高以上(船津川橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	368	秋左	0-1	秋山川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市船津川町	NO. 0~NO. 0+112	111.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(避難):伊保内新橋観測所) (危険箇所(越水):伊保内新橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	112	4 箇所	0	2 箇所	112	2 箇所
総合評価 A	0	2 箇所	0	1 箇所	0	1 箇所
越水(溢水) A	0	2 箇所	0	1 箇所	0	1 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		2 箇所		1 箇所		1 箇所
総合評価 B	112	3 箇所	0	1 箇所	112	2 箇所
越水(溢水) B	112	3 箇所	0	1 箇所	112	2 箇所
堤体漏水 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 B		2 箇所		1 箇所		1 箇所
総合評価 要注	120	1 箇所	0	0 箇所	120	1 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
旧川跡	120	1 箇所	0	0 箇所	120	1 箇所

凡例

○: 氾濫危険水位設定箇所
赤字: 重点区間

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覧表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	369	矢右	42-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.42+40	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(旭橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	370	矢右	42-2	矢場川	越水(溢水)	B	右	栃木県 足利市県町	NO.41-10~NO.42-104	113.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	371	矢右	41-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.40+101~NO.41-10	91.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	372	矢右	40-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.39-101~NO.40+101	394.3	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	373	矢右	40-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.40+25	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(東下河原橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	374	矢右	39-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.38+85~NO.39-101	26.6	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	375	矢右	38-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.36+60~NO.38+85	425.4	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	376	矢右	38-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.38+53	1箇所 (7.5m)	計算水位が桁下高以上(押切橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	377	矢右	37-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.37+55	1箇所 (5m)	計算水位が桁下高以上(金塚橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	378	矢右	37-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.37-75	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下ノ宮橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	379	矢右	36-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.36-15~NO.36+60	75.5	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	380	矢右	36-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.36-31~NO.36-15	15.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	381	矢右	36-3	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.35+82~NO.36-31	92.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	382	矢右	35-1	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.34-30~NO.35+82	304.0	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	383	矢右	34-1	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市小曾根町	NO.34-113~NO.34-30	83.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	384	矢右	34-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.33+27~NO.34-113	83.5	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	385	矢右	33-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.31+5~NO.33	340.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	386	矢右	31-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.31-33~NO.31+5	38.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	387	矢右	31-2	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	栃木県 足利市小曾根町	NO.30+110~NO.31-33	77.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	388	矢右	30-1	矢場川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市小曾根町	NO.30+77~NO.30+110	33.1	旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	389	矢右	30-2	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.30+11~NO.30+77	66.2	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	390	矢右	30-3	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.30+11	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(小曾根橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	391	矢右	30-4	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO.29~NO.30-108	107.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	392	矢右	29-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市小曾根町	NO.29-44~NO.29	44.1	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	393	矢右	29-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.29-98~NO.29-44	53.9	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	394	矢右	29-3	矢場川	(重点) 越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.25-127~NO.29-98	774.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	395	矢右	26-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.26+81	1箇所 (6.5m)	計算水位が桁下高以上(平成橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	396	矢右	23-1	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.22+90~NO.23+29	118.5	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	397	矢右	23-2	矢場川	工作物 越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.23-18	1箇所 (5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(鶯橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	398	矢右	22-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.21+92~NO.22+90	181.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	399	矢右	21-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.21+96	1箇所 (3.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(矢場川橋梁)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	400	矢右	21-2	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.21-71~NO.21+92	163.0	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	401	矢右	21-3	矢場川	工作物 越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.21-58	1箇所 (1.1m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八幡橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	402	矢右	18-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市日向町	NO.18+85	1箇所 (8.2m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(足森橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	403	矢右	16-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市日向町	NO.15+92~NO.16+66	157.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	404	矢右	2-1	矢場川	堤体漏水	B	右	群馬県 館林市傍示塚町	NO.1+107~NO.2-21	85.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	405	矢左	42-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市県町	NO.42+14	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(旭橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	406	矢左	42-2	矢場川	越水(溢水)	B	左	栃木県 足利市県町	NO.41-94~NO.42+14	299.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	407	矢左	41-1	矢場川	越水(溢水)	B	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.40+104~NO.41-94	10.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	408	矢左	40-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.40+26	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(東下河原橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	409	矢左	40-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	NO.39-83~NO.40-95	177.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	410	矢左	39-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.37+50~NO.39-83	274.3	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	411	矢左	38-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.38+52	1箇所 (7.5m)	計算水位が桁下高以上(押切橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	412	矢左	37-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.37+50	1箇所 (5m)	計算水位が桁下高以上(金塚橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	413	矢左	37-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.36+101~NO.37+50	150.5	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(避難):足森橋観測所) (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	414	矢左	37-3	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.37-75	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下ノ宮橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	415	矢左	36-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO.36+80~NO.36+101	20.1	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	秆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	416	矢左	36-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 35+86～NO. 36+80	209.4	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	417	矢左	35-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 35+5～NO. 35+86	80.6	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	418	矢左	35-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 35-15～NO. 35+5	20.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	419	矢左	35-3	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 35-57～NO. 35-15	41.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	420	矢左	35-4	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 33～NO. 35-57	332.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	421	矢左	33-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 31+98～NO. 33	236.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	422	矢左	31-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 31+59～NO. 31+98	39.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	423	矢左	31-2	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 31-70～NO. 31+59	128.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	424	矢左	31-3	矢場川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 30+101～NO. 31-70	30.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	425	矢左	30-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 30+25	1箇所 (11m)	計算水位が桁下高以上(小曾根橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	426	矢左	30-2	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 30-80～NO. 30	79.6	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	427	矢左	30-3	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 29+40～NO. 30-80	39.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	428	矢左	29-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 29-47～NO. 29+40	87.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	429	矢左	29-2	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 29-95～NO. 29-47	47.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	430	矢左	29-3	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	NO. 28+74～NO. 29-95	42.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	431	矢左	28-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 27+97～NO. 28+74	192.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	432	矢左	27-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市小曾根町	NO. 25+94～NO. 27+97	455.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	433	矢左	26-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市高松町	NO.26+114	1箇所 (6.5m)	計算水位が桁下高以上(平成橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	434	矢左	25-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.25+76~NO.25+94	17.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	435	矢左	25-2	矢場川	越水(溢水)	B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.25-41~NO.25+76	116.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	436	矢左	25-3	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	NO.25-72~NO.25-41	31.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	437	矢左	25-4	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.21+64~NO.25-72	651.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	438	矢左	23-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.23-26	1箇所 (5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(鶯橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	439	矢左	22-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.22-38	1箇所 (3.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(矢場川橋梁)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	440	矢左	21-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市高松町	NO.21-5~NO.21+64	69.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	441	矢左	21-2	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.21-81~NO.21-5	76.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	442	矢左	21-3	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.21-71	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八幡橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	443	矢左	21-4	矢場川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.20+102~NO.21-81	20.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	444	矢左	20-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市高松町	NO.18+72~NO.20+102	396.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	445	矢左	18-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	NO.18+78	1箇所 (8.2m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(足森橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	446	矢左	17-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.17-75~NO.17-30	45.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	447	矢左	17-2	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.15+85~NO.17-75	266.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	448	矢左	15-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.15-67~NO.15+85	151.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	449	矢左	15-2	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.14-34~NO.15-67	145.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張
渡良瀬川河川事務所	450	矢左	14-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.13+72~NO.14-34	86.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	451	矢左	13-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.12-73~NO.13+72	309.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	452	矢左	12-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.12-88~NO.12-73	14.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	453	矢左	12-2	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市瑞穂野町	NO.11+39~NO.12-88	68.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	秆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	454	矢左	11-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 10+94~NO. 11+39	195.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	
渡良瀬川河川事務所	455	矢左	10-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 9-58~NO. 10+94	372.9	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	
渡良瀬川河川事務所	456	矢左	9-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 8+39~NO. 9-58	58.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	
渡良瀬川河川事務所	457	矢左	8-1	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 6+51~NO. 8+39	406.3	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪	
渡良瀬川河川事務所	458	矢左	6-1	矢場川	(重点) 基礎地盤漏水 旧川跡	B 要注	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 6-15~NO. 6+51	66.0	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。 重点監視区間(基盤漏水)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪	
渡良瀬川河川事務所	459	矢左	6-2	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県 足利市瑞穂野町	NO. 5+79~NO. 6-15	103.2	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪	
渡良瀬川河川事務所	460	矢左	5-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市野田町	NO. 5-63~NO. 5+49	112.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	
渡良瀬川河川事務所	461	矢左	4-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市野田町	NO. 2+39~NO. 4-53	313.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	
渡良瀬川河川事務所	462	矢左	2-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県 足利市野田町	NO. 1+64~NO. 2+10	129.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張 月の輪	

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	3,080	35 箇所	1,706	18 箇所	1,373	17 箇所
総合評価 A	3,013	34 箇所	1,706	18 箇所	1,307	16 箇所
越水(溢水) A	3,013	34 箇所	1,706	18 箇所	1,307	16 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		13 箇所		6 箇所		7 箇所
総合評価 B	7,772	56 箇所	1,859	14 箇所	5,913	42 箇所
越水(溢水) B	4,365	36 箇所	1,773	13 箇所	2,592	23 箇所
堤体漏水 B	2,771	17 箇所	86	1 箇所	2,686	16 箇所
基礎地盤漏水 B	4,026	25 箇所	0	0 箇所	4,026	25 箇所
水衝洗掘 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 B		9 箇所		5 箇所		4 箇所
総合評価 要注	381	4 箇所	381	4 箇所	0	0 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
旧川跡	2,541	24 箇所	1,256	12 箇所	1,285	12 箇所

凡例
○: 氾濫危険水位設定箇所
赤字: 重点区間

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	杣杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	463	多右	4-1	多々良川	(重点) 越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市木戸町	NO. 3+100~NO. 4	100.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(避難):足森橋観測所) (危険箇所(越水):足森橋観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	464	多右	1-1	多々良川	(重点) 工作物 越水(溢水) 陸閘	A A 要注	右	群馬県 館林市木戸町	NO. 1-10	1箇所 (4.2m)	計算水位が桁下高以上(江川橋) 陸閘形状の構造物が存在する	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	465	多左	1-1	多々良川	(重点) 工作物 越水(溢水) 陸閘	A A 要注	左	群馬県 館林市日向町	NO. 1-14	1箇所 (4.2m)	計算水位が桁下高以上(江川橋) 陸閘形状の構造物が存在する (危険箇所(越水):足森橋観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	100	3箇所	100	2箇所	0	1箇所
総合評価 A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
越水(溢水) A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A		2箇所		1箇所		1箇所
総合評価 B	100	1箇所	100	1箇所	0	0箇所
越水(溢水) B	100	1箇所	100	1箇所	0	0箇所
堤体漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 B		0箇所		0箇所		0箇所
総合評価 要注	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
新堤防	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
破堤跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
旧川跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所

凡例

○: 氾濫危険水位設定箇所
 赤字: 重点区間

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	467	矢捷右	10-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO.10+5~NO.10+53	47.4	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	468	矢捷右	10-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO.10+32	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	469	矢捷右	10-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水	A B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO.9+98~NO.10+5	124.5	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	470	矢捷右	9-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO.9+76~NO.9+98	21.7	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	471	矢捷右	9-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO.9+70~NO.9+76	5.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	472	矢捷右	9-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.9-73~NO.9+70	143.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	473	矢捷右	9-4	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO.9-93~NO.9-73	19.5	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	474	矢捷右	9-5	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO.8-39~NO.9-93	141.8	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	475	矢捷右	8-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO.8-73~NO.8-39	33.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	476	矢捷右	8-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO.8-51	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	477	矢捷右	8-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.8-84~NO.8-73	11.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	478	矢捷右	8-4	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.7~NO.8-84	140.4	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	479	矢捷右	7-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.6+31~NO.7	177.3	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	480	矢捷右	6-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO.6-15~NO.6+31	46.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	481	矢捷右	6-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO.5-72~NO.6-15	256.0	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	482	矢捷右	5-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO.5-82~NO.5-72	10.3	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	483	矢捷右	5-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.4+21~NO.5-82	102.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	484	矢捷右	4-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.4+98	1箇所 (17.8m)	計算水位が桁下高以上(羽刈橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	485	矢捷右	4-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO.3+35~NO.4+21	184.9	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	486	矢捷右	3-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	NO.3+15~NO.3+35	19.9	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務所			
渡良瀬川河川事務所	487	矢捷右	3-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 3-54~NO. 3+15	68.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	488	矢捷右	3-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 2-90~NO. 3-54	251.8	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	489	矢捷右	2-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 2+86	1箇所 (7m)	計算水位が桁下高以上(赤谷戸橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	490	矢捷右	2-2	矢場川第二 捷水路	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 1+45~NO. 2-90	45.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	491	矢捷右	1-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 1+86	1箇所 (8.5m)	計算水位が桁下高以上(千原田橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	492	矢捷右	1-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 1+5~NO. 1+45	40.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	493	矢捷右	1-3	矢場川第二 捷水路	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 0~NO. 1+5	38.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	494	矢捷左	10-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO. 10+26~NO. 10+52	25.9	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	495	矢捷左	10-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO. 10+41	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	496	矢捷左	10-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 10-16~NO. 10+26	42.3	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	497	矢捷左	10-4	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 10-22~NO. 10-16	5.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	498	矢捷左	10-5	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字秋妻	NO. 10-104~NO. 10-22	81.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	499	矢捷左	10-6	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 8-32~NO. 10-104	346.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	500	矢捷左	8-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO. 8-70~NO. 8-32	37.6	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	501	矢捷左	8-2	矢場川第二 捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字藤川	NO. 8-54	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	502	矢捷左	8-3	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 7+64~NO. 8-70	80.6	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	503	矢捷左	7-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 6-34~NO. 7+64	296.7	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 旧川跡。 重点監視区間(法崩れ・すべり)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	504	矢捷左	6-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大 字中野	NO. 5-41~NO. 6-34	201.0	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張
渡良瀬川河川事務所	505	矢捷左	5-1	矢場川第二 捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 5-71~NO. 5-41	30.4	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張

様式-2

令和6年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所		延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地先名	杆杭位置(K, m)			担当水防団体	担当土木事務所		
渡良瀬川河川事務所	506	矢捷左	5-2	矢場川第二捷水路	(重点)越水(溢水)基礎地盤漏水旧川跡	A B 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 3+15~NO. 5-71	311.8	計算水位が現況堤防高以上基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	507	矢捷左	4-1	矢場川第二捷水路	(重点)工作物越水(溢水)	A A	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 4+101	1箇所(17.8m)	計算水位が桁下高以上(羽刈橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	508	矢捷左	3-1	矢場川第二捷水路	(重点)越水(溢水)旧川跡	A 要注	左	栃木県 足利市羽刈町	NO. 3-34~NO. 3+15	48.8	計算水位が現況堤防高以上旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	509	矢捷左	3-2	矢場川第二捷水路	(重点)越水(溢水)旧川跡	A 要注	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 2+88~NO. 3-34	73.3	計算水位が現況堤防高以上旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	510	矢捷左	2-1	矢場川第二捷水路	(重点)越水(溢水)	A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 1-11~NO. 2+88	301.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	511	矢捷左	2-2	矢場川第二捷水路	(重点)工作物越水(溢水)	A A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 2+54	1箇所(7m)	計算水位が桁下高以上(赤谷戸橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	512	矢捷左	1-1	矢場川第二捷水路	(重点)工作物越水(溢水)	A A	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 1+81	1箇所(8.5m)	計算水位が桁下高以上(千原田橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	513	矢捷左	1-2	矢場川第二捷水路	(重点)越水(溢水)旧川跡	A 要注	左	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	NO. 0~NO. 1-11	18.9	計算水位が現況堤防高以上旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	3,751	45箇所	1,848	25箇所	1,903	20箇所
総合評価 A	3,751	45箇所	1,848	25箇所	1,903	20箇所
越水(溢水) A	3,751	45箇所	1,848	25箇所	1,903	20箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A		10箇所		5箇所		5箇所
総合評価 B	84	2箇所	84	2箇所	0	0箇所
越水(溢水) B	84	2箇所	84	2箇所	0	0箇所
堤体漏水 B	674	5箇所	146	2箇所	528	3箇所
基礎地盤漏水 B	312	1箇所	0	0箇所	312	1箇所
水衝洗掘 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 B		0箇所		0箇所		0箇所
総合評価 要注	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
新堤防	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
破堤跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
旧川跡	2,378	25箇所	845	13箇所	1,533	12箇所

凡例

○：氾濫危険水位設定箇所

赤字：重点区間